

第九回 西サ連情報交流会

十二月十日(日)西サ連情報交流会が行なわれ、午前中に県サ連事務局(案)を説明、午後からはレクレーションを通しての仲間作りが行なわれました。県サ連として津野辺と山本が一般参加として交流してきました。

レクレーションは、グループ対抗で、折鶴折り競争と文章から手話を考えるゲーム、そして最後にチョロQ(ゼンマイで動く車形のおもちゃ)を使つての寸止め大会を行いました。グループで作戦を練り、真剣に、楽しく仲間作りが行なえたと思えます。

今後、県レベルで、様々なレクレーションと情報交換を行ない、仲間作りをし、今後の運動に活かして行きたいです。



県サ連組織(案)について

平成 19 年度 4 月以降に県サ連第 1 回総会を予定しており、議事として組織について提起し、承認を頂くこととなります。現在、どのような組織体制が良いのか、事務局及び委員と検討中です。

県サ連だけに加盟する、逆に地域のサ連だけに加盟をするということでは、連携が図れなくなる恐れや共に活動をしていくことが難しくなることが想像されます。そのため、事務局(案)では、県サ連への加盟は手話サークル個別に入るのではなく、地域サ連単位で加盟としていきたいと考えております。従って、地域サ連に加盟していない手話サークルはまずは地域のサ連に加盟をしていただくという案です。↑

ここで問題となるのが、地域サ連のあり方です。地域サ連(東サ連、中サ連、西サ連の3団体)の運営方法は異なっており、特に地域に存在する手話サークルに対して、加盟への呼びかけや、民主的な活動となっているのか検証する必要があります。加盟手話サークル会員が自由に意見を述べる場があるのか等、地域の手話サークルが望むようなサ連運営を目指していかなければなりません。

12月に、県内手話サークルに対して事務局(案)に対するアンケート調査を配布致しました。より多くの意見を集約し、よりよいサ連活動が行なえるようご協力の程、よろしくお願い致します。 全力を尽くし、各手話サークルにアンケート用紙を配布する予定ですが、行き届いていない手話サークルがある場合は、事務局まで、ご連絡ください。

全通研冬の集会 第11分科会 「手話サークル」の参加について

2/17~18日に京都にて全国手話通訳問題研究会冬の討論集会が開催されます。中サ連の田原典枝事務局長に参加して頂くことを決定し、静岡研運営委員会にて承認を頂きました。

今年度は時間がありませんでしたが、来年度はレポートを作成し、全国に静岡県のサ連について発表し、多くのご意見を頂き、討議ができるよう努力していきたいと思っております。

十二月・一月の事務局活動報告・予定

第四回事務局会議(報告)

日時/十一月二十八日(火) 十九時

場所/情報センター会議室

主に分担金額や規約(案)、地域サ連のあり方等、第2回委員会の内容について討議を行ないました。

第二回県サ連委員会(予定)

日時/一月二十七日(土) 十六時

場所/県総合社会福祉会館 五階

編集後記

事務局会議を4回開催しました。事務局だけでは意見に限界があり、「サ連」の必要性について、県内サークル会員一堂が集い、自由に討論する場を作れば、もっと新しい意見がでるのでは・・・。不明点等がある方は、県サ連事務局(津野辺宅: T/F054 - 257 - 6507 メール: gochan@tokai.or.jp)までご連絡ください。